

令和6年2月定例会議事録

令和6年2月19日

鹿屋市教育委員会

○日 時 令和6年2月19日(月)
15時から17時まで

○場 所 教育長室

○出席者

教育長	中 野 健 作
教育長職務代理者	早 川 雅 子
教育委員	東別府 睦
教育委員	遠 矢 達 一
教育委員	浜 田 幸 史

○関係者

教育次長	川 越 太
教育総務課長	隈 元 成 人
生涯学習課長	山 口 良 二
教育総務課課長補佐	原 田 竜 哉
教育総務課総務係長	東 倉 晃
鹿屋看護専門学校事務長	吉 永 和 弘
学校教育課課長補佐	劔 持 里 美
学校教育課学校教育係長	平 山 哲 也

○議事日程

- 1 開会
- 2 前回議事録の承認
- 3 教育長及び委員の報告
- 4 議事
 - (1) 議案第15号 令和5年度鹿屋市一般会計補正予算（第13号）について
 - (2) 議案第16号 令和6年度鹿屋市一般会計当初予算について
- 5 報告
 - (1) 鹿屋女子高総合選択制「アプリ開発」成果発表会の実施について
 - (2) 国立台北教育大学教育実習（実績報告）及びかのやこどもPR大使台湾派遣について
 - (3) 看護専門学校生の接遇マナー教育について
 - (4) 第66回 卒業式の実施について
 - (5) 鹿屋市美術展について
 - (6) 中央公民館等市民講座について
- 6 動議の討論等
- 7 その他
- 8 閉会

○議決事項

議案番号	件 名	審議の状況	採決次第
議案第15号	令和5年度鹿屋市一般会計補正予算（第13号）について	特記事項なし	原案可決
議案第16号	令和6年度鹿屋市一般会計当初予算について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開 会
教育長	<p>皆さんこんにちは。本日は、あいにくの雨天となった。</p> <p>今月に入り慌ただしくなってきたが、学校において新型コロナウイルスや、インフルエンザの発症は継続している。</p> <p>9日には、鹿屋小中学のオープンスクールが開催され、文科省職員の宮本さんによる開会の挨拶から始まり、両校で約300名～400名の方が研究発表を見学されて、良いオープンスクールになった。</p> <p>また、17日に「鹿児島県下一周市郡対抗駅伝競走大会」開催された。例年、南日本新聞社がスタート地点であるが、肝属チームの応援が少なく寂しく感じた。しかし、選手の頑張りで、昨日までの結果から、Bクラス優勝でAクラス入りが期待できるのではないかと。結果を楽しみに力を出し切ってほしい。</p> <p>今朝、「かのやPR大使」として市内の小中高生8名と、学校職員2名、教育委員会職員2名の計12名が、福岡を経由して台湾に向かった。中央駅で見送りをしたが、児童生徒達は、緊張しつつ楽しみな表情が伺えた。</p> <p>本日も宜しくお願ひしたい。</p>
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	教育長及び委員の報告
早川委員	<p>今月号の「広報かのや」に「生徒会役員交流会」が開催された様子が掲載されており、大隅半島の高校生活動の交流に感動をした。生徒が主体となったのか。</p>
教育長	<p>以前から高等学校の生徒会で実施の計画があり、今回実現できて嬉しく思っている。今後もこのような活動に取り組み、発展して様々なボランティア活動のようなものや、行事に繋がることを期待している。</p>
早川委員	<p>市議会での柴立議員の質問で、教職員と子どもたちの負担を考えると、入学式と始業式の日程を分けられないかという質問があった。東京都墨田区の教育委員会は、日程を別にしたいが鹿屋市ではどうか。</p>
教育長	<p>鹿児島県内の学校では、南さつま市が2年程前に日程を別日にして試験的に行っていたが、現在でも継続していると思う。鹿屋市では、今年度始めの春季休業中の入学式・始業式に係る準備作業時間の調</p>

東別府委員	<p>査を実施し、入学式・始業式による時間外勤務を多く行った実態はほとんどなく、学校長からの要望もなかった。また、PTAからは、兄弟姉妹がいる家庭では、仕事を一日休むだけで出席ができるので、同一日で実施してほしいという要望もあり、現段階では今後も始業式・入学式を同一日で行う。他県では、同一日の実施が増えていることも伺っている。今後も情報収集し、動向や働き方改革も含めて意識しておく。</p> <p>鹿屋女子高生2名が、鹿児島大学に合格したことが保護者の中で話題になっている。共通テストは18名程受験したらしい。現在、高校3年生がいる保護者によると、私立を合格すると国公立の受験まで意識を継続することが難しいが、女子高の生徒や教員の意識が高くなっているのだと嬉しく感じた。また、鹿児島大学の看護学部にも女子高の生徒が合格したようである。学力も重要であるが面接試験で、人間力の評価もされたのかと思うと更に嬉しい。</p>
学校教育課学校教育係長	<p>他に、現在のところ国公立大学に3名、私立大学に20名以上で国公立短大に4名の合格者がいる。昨年と比べて増えている。</p>
東別府委員	<p>新年度の鹿屋東中学校のクラスが1クラス増えて9クラスになるようだ。1クラス増えることで学校の教育体制について保護者が心配をしている。2年後も学年が多い年だと聞いたが教室数の調整はできるのか。学校区により生徒数の差が大きくなるのではないか。</p>
教育総務課長	<p>教室数に関しては、普通教室と特別支援学級の今後の推移を校長に確認している。住民基本台帳から推測すると、生徒数のピークは令和10年度に1,031名程でその後は980名と減少するようである。</p>
教育長	<p>特別支援学級もそれに伴い増えるが、想定して校舎の増築を行ったため問題はない。</p>
東別府委員	<p>学童利用などによる学区外からの通学が多くなっているが、制限などあるのか。</p>
学校教育課課長補佐	<p>共働き世帯であり、どうしても家で見るできない子どもを学童で預かっており、子どもの安全を考えると制限はできない。</p>
4	議事
(1) 議案第15号 令和5年度鹿屋市一般会計補正予算(第13号)につ	

	いて
教育次長	資料に基づき説明
早川委員	聞きなれない専門用語がある。「入札執行残」や「小学校債」という用語が頻繁にでてくるので説明をいただきたい。また、スクールバス事業のタクシー路線が対象となっているが、何故このような結果になるのかも説明をいただきたい。
教育総務課長	「入札執行残」は、工事をする際に競争入札をする。競争であり、入札額は当初予算よりも安くなる。当初予算と入札額の差額が「入札執行残」であり、これを予算から取り除くところである。
早川委員	入札した時点で残額が把握できるということか。
教育総務課長	基本的には把握できる。
早川委員	今年度の実績に基づき次年度の予算を減額することになるのか。
教育総務課長	次年度は改めて必要経費を計算し、予算を要求する。
早川委員	入札価格が安くなることに伴い、質の問題はどう管理しているのか。
教育総務課長	整備計画に基づいて設計し、公表単価に見合った額を計上する。工事内容についても十分に精査をした上で、競争入札や指名競争をする形になる。
東別府委員	落札するために価格設定を特別に低くする業者もあるのか。
教育総務課長	最低制限価格があるので、その額より低く落札されることはない。「小学校債」については、いわゆる借金である。借り入れの元利の70%は国が交付税として措置するものである。小学校の校舎を作る場合や、体育館を修繕する場合などには「小学校債」が利用できる。これは、100万円借りると通常は、100万円を返済するが、交付税で70%戻ってくるために、実質30%程の返済で可能である有利な借金であり、学校の環境整備をしっかりと行う目的がある。
学校教育課課長	「スクールバス業務委託事業」については、登校時はスクールバスを

補佐	<p>利用するが、部活動等の関係で下校時間が生徒によって違い、対象生徒数も少ないことから下校時はタクシーを利用することがある。これまで補助対象外であったが、今年度から「へき地児童生徒援助費等補助金」において、タクシー路線も対象となった。現在の対象校区は、高須小学校校区であり、小中学生が下校をする際に通学人数が少ないことから野里小学校を起点にタクシーを利用している。令和6年以降は、「へき地児童生徒援助費等補助金」の対象にならないため、その後の歳入はない。また、高隈校区は準へき地に認定されている。</p>
教育長	<p>合併に伴うスクールバスは、5年間のみ国が補助するが、以降の補助はない。</p>
早川委員	<p>奨学金の新規申込者が、想定よりも少なかったとあるがどのような理由なのか。</p>
学校教育課課長 補佐	<p>奨学金制度を利用される方は少しずつ増えてきており、当初予算で前年よりも5名多く予算組みをした。その関係もあり、新規が31名で、継続を46人と予測していたが、実際には新規が25人で、休学などの理由で一時利用を停止する方が出て、現在43人と減った関係で本来77名分の予算分を確保していたが、実際は68名分であったことが理由である。</p>
教育長	<p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第15号は、原案可決とする。</p>
教育次長 教育総務課長 学校教育課課長 補佐 鹿屋看護専門学校事務長 生涯学習課長	<p>(2) 議案第16号 令和6年度鹿屋市一般会計当初予算について</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>資料に基づき説明</p> <p>資料に基づき説明</p>
浜田委員	<p>大隅総文祭事業は、他の市町村も一緒に実施するのか。また、鹿屋市部活動地域移行の過程で、文化部も取り組もうという機運がある。中学生も参加できるような形に進めると、良い方向性で作っていただけるので</p>

生涯学習課長	<p>はないかと感じる。</p> <p>今回の事業は、大隅地区全ての高校生の発表の場となる。なかなか発表という場が持てない高校生を中心に、発表やPRの場を設ける事業にしたいと考えている。中学生の活動についての視点も必要なことであり、今後、参考にしながら事業構成設計を進めていければと思う。</p>
遠矢委員	<p>大隅総文祭の日時と場所は決定しているのか。</p>
生涯学習課長	<p>11月19日から11月30日の間でリナシティかのやで開催予定である。ギャラリー展示や舞台発表は限られた日になるが、リナシティを窓口にして、発表の場というイメージで取り組み準備を進める予定である。</p>
遠矢委員	<p>歩行者天国の開催もその期間を予定しているようだ。上手く結びつけてコラボできればと思う。</p>
教育長	<p>情報交換して、上手く連携をとりながら進めてほしい。</p>
早川委員	<p>学校給食費が全額無償になるという事で、要保護世帯は除くというのは元々無償だったということか。</p>
学校教育課課長 補佐	<p>要保護世帯は、国からの補償があるため除く形となる。</p>
教育長	<p>原案可決とすることに異議はないか。</p> <p>(異議なしとの発言)</p>
教育長	<p>異議がないので、議案第16号は、原案可決とする。</p>
5	<p>報告</p>
教育総務課長	<p>(1) 鹿屋女子高総合選択制「アプリ開発」成果発表会の実施について</p> <p>資料に基づき説明</p>
遠矢委員	<p>「アプリ開発」は、情報ビジネス科の生徒が中心的な感じだが、普通科や生活科の生徒達も授業の一環として参加しているのか。</p>
教育総務課長	<p>総合選択制は、学科に捉われずに授業を選択できる。今回は、総合選</p>

	<p>択制の取り組みの成果発表会とした。</p> <p>(2) 国立台北教育大学教育実習（実績報告）及びかのやこどもPR大使台湾派遣について</p>
学校教育課課長 補佐	資料に基づき説明
	<p>(3) 看護専門学校生の接遇マナー教育について</p>
鹿屋看護専門学校事務長	資料に基づき説明
	<p>(4) 第66回 卒業式の実施について</p>
学校教育課課長 補佐	資料に基づき説明
早川委員	短大と連携協定を結んだが、その影響はあるのか。
教育総務課長	鹿児島女子短期大学への進学者は毎年多い。短大と連携協定を結んだ影響があるのかは、今年度はまだ統計がとれていない。
教育長	連携協定を結んだ短大の講師による授業で、生徒にとって将来の目標を考える大きなメリットに繋がると思う。
	<p>(5) 鹿屋市美術展について</p>
生涯学習課長	資料に基づき説明
	<p>(6) 中央公民館等市民講座について</p>
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	市民講座が全98講座とあり、その他にある短期講座は104講座とあるが、それぞれ違うものなのか。
生涯学習課長	その通りであり、補足すると市民講座の受講生が、短期講座の講師に

	<p>なることが増えている。市民講座での学びを市民に繋げるという意味で、繋がりを大切にしていることが伺える。</p>
6	<p>動議の討論</p>
教育長	<p>発言がないので、動議はないものとする。</p>
7	<p>その他</p>
学校教育課課長 補佐	<p>「公立高等学校入試の出願状況」について</p> <p>資料に基づき説明</p>
東別府委員	<p>「実践教育の周知と参加状況」について</p> <p>教育委員に就いて全ての実践教育に参加しているが、それ以前に、保護者として参加したことがある。学校の取り組みをより一層知る事ができた。コロナ禍を過ぎて様々な行事等が緩和されつつあるが、参加者が少ないように感じた。PTAからは案内がなかったが他校はどうか。</p>
学校教育課学校 教育係長	<p>一般保護者への案内と参加状況については、各学校職員やPTA、学校運営協議会委員に出席依頼を呼びかけている。その結果、出席が少ない地域に関しては再度出席の依頼をしている。400名程のキャパであり、参加者数の把握が必要なため、学校毎に出席者の取りまとめをしていただいている。今回の参加者数は130名程であった。良い発表の場であるため、より多くの方に参加していただくようにしなければならない。</p>
教育長	<p>参加者数を想定して会場を設けたが、コロナ禍が5類になり緩和されつつあるが、難しいところがあるようだ。しかし、もう少し徹底して行うべきである。</p>
東別府委員	<p>「東別府委員任期満了に伴うあいさつ」</p> <p>次回の定例教育委員会は、令和6年3月7日（木）15時00分から教育長室で行う。</p>
8	<p>閉会</p>

教育長	以上をもって2月定例教育委員会を閉会する。 以上
-----	---------------------------------